

## 平成 20 年度鹿児島市学校教育研究大会 実践研究主題

### 1 研究主題

生徒が主体的に行動し，自立できる力を身に付けさせるにはどうすればよいか。

指導法の改善をとおして

### 2 研究の内容

#### (1) 研究の仮説

基礎的・基本的な内容を確実に定着させるとともに，指導法を工夫改善すれば，主体的に学習に取り組む生徒を育成することができるだろう。

心の教育や積極的生徒指導を充実させつつ，個性や能力を引き出す教育活動を実践すれば，生徒は自立できる力を身に付けることができるだろう。

#### (2) 研究の内容

指導法の改善 - 「確かな学力」の育成を目指した学習指導の充実 -

ア 「特別支援教育」支援体勢の確立

イ 基本的な学習習慣の確立

ウ 基礎的・基本的な内容の定着

エ 少人数指導（英，数）の充実

オ 標準学力検査等の分析、活用

カ 評価基準の改善・充実

キ 「総合的な学習の時間」の充実

心の教育の充実 - 主体的に行動し，自立できる生徒の育成 -

ア 基本的生活習慣の確立

イ 道徳の充実

ウ 積極的生徒指導の推進

エ 受容的な教育相談の推進

オ 人権同和教育の充実

カ 啓発的諸体験活動をとおしての豊かな心の育成

キ キャリア教育の充実・推進

### 3 研究の実際

#### (1) 指導法の改善 - 「確かな学力」の育成を目指した学習指導の充実 -

「特別支援教育」支援体勢の確立

コーディネーターを中心とする支援体勢充実を推進する。

基本的な学習習慣の確立

各教科，各学年，学級担任が連携して「学習のしおり」を活用しつつ，学習意欲を持たせる工夫を図る。

基礎的・基本的な内容の定着

各教科で単元毎の望ましい指導法の在り方を研究、実践し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。

少人数指導の充実

英語科、数学科において「習熟の程度に応じた学習指導」を実践し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。

標準学力検査等の分析，活用

各教科で調査結果を踏まえつつ，個に応じた指導法改善への活用を図る。

評価基準の改善・充実

各教科における「評価基準」を活用し，共通理解を図る。

「総合的な学習の時間」の充実

主体的な学習活動を工夫し、意欲的に学習に取り組む生徒の育成に努める。

(2) 心の教育の充実 - 主体的に行動し，自立していくことのできる生徒の育成 -

基本的生活習慣の確立

学校の環境（人、モノ、ことば）を整え、服装や生活、学習態度に関する指針を職員が共通理解、共通実践し、自立に必要な生活習慣を身に付けさせる。

道徳の充実

学級、学年を中心に生徒の心を耕す道徳実践を全教育活動をとおして実践する。

積極的生徒指導の推進

スクールカウンセラーを活用し，教育相談の充実をさらに推進する。

受容的な教育相談の推進

「聞く」姿勢を大切にし、生徒の共感的理解に努める。

人権同和教育の充実

差別やいじめを許さない意識や環境の充実を図る。

啓発的体験による豊かな心の育成

「総合的な学習の時間」を中心に「自立」と「豊かな心」の育成に努める。

キャリア教育の充実・推進

全教育活動をとおして望ましい勤労観、職業観を育成に努める。

#### 4 年間計画

回	月・実施時期	内 容	研修の持ち方(分)
1	4月14日(月)	今年度の研修主題 研修計画の確認	全体(50)
2	5月12日(月)	生徒指導・特別支援教育(事例研修等)	全体(70)
3	8月1日(金)	安全指導(救命救急法、不審者対策等)	全体(100)
4	8月21日(木)	特別支援教育(講話等)	全体(100)
5	9月8日(月)	生徒指導(事例研修)	全体(50)
6	10月9日(木)	指導法改善(授業研修等)	全体(70)
7	11月10日(月)	人権同和教育(講話等)	全体(70)
8	2月23日(月)	来年度の研修主題・研修計画の確認	全体(50)